

福島県環境創造センター交流棟に係る展示・運営事業の考え方(案)

—— ふくしまの子どもたちが安心して輝く未来を創造するために ——

平成25年10月
福島県生活環境部

■交流棟コンセプトと5つの柱

———環境回復・創造の“学びと発信”を目指して———

交流棟は、子どもたち・県民とともにふくしまの未来を創造する“対話と共創の場”です

子ども

子どもたちに放射線をはじめ正しい福島情報を伝え、未来を担う力を育む

発信

福島環境創造のチカラを人類の財産として県民そして世界に発信する

対話

子どもたち、県民から専門家までさまざまな対話と共創を醸成する

透明

展示や活動を通してオープンで透明性の高い事業を展開する

創造

子どもたちの成長とともに環境回復・創造を進め福島未来を創る

■展示事業の方針

内容

福島環境の最新かつ正しい情報を県民に「見える化」しこれからの福島をともに考える

- 子どもたちに福島で暮らすための正しい情報と知識を提供
- 自ら体験的に学べる展示により「自ら未来を創る力」を養成

ストーリー

「知る・体験する・考える」のステップで「未来を描き創る」力を育む

- さまざまな福島の姿を知る“ものさし”を伝え、今を理解
- 環境回復から環境創造へとつなげ、未来を考える構成

手法

福島環境回復、子どもの成長にあわせて進化

- 環境回復の情報などを更新できるフレキシブルな展示
- 子どもたちが興味・関心をもつ体感、体験型の展示

空間

展示体験や活動を見通せるオープンな空間で、情報の理解や対話を促す

- 子どもたち、県民から専門家まで対話と交流できる場を創出
- 体験や活動の様子がわかるオープンな空間

展示と運営が一体化して
福島未来を創造

■運営事業の方針

内容

子どもたちや県民の関心に応じた実践的な活動を展開する

- 子どもたちの年齢に応じた実践的な学習活動を実施
- 環境創造の担い手を育成する体験・実践的な活動を展開

プログラム

子どもたちの成長や意識にそった持続型のプログラムを開発する

- 環境回復・創造の進捗や県民意識にあわせた活動計画
- 子どもの成長にあわせて進化する活動プログラム

連携

学校利用促進と交流を通して、新たな環境を創ることへの気づきと意識を醸成

- 子どもの成長にあわせて何度でも訪れるための魅力づくり
- 対話と交流を通して福島環境を創っていく意識・意欲づくり

発信

福島環境を共創するプロセスを県内、そして国内外に発信

- 幅広い層に利用を促すために、活動内容を発信
- 環境回復・創造に取り組む貴重な経験を国内外に情報発信

一次対象

二次対象(波及効果)

展示・運営事業で重視するポイント

ターゲット① (コアターゲット)



小中学生の団体利用



家族・学童クラブ

ターゲット②



教師・教員



小中学生
理数科等高校生／クラブ活動生徒

ターゲット③



県民・NPO／地元利用



関係者・WEB・SNS閲覧者

ターゲット④



研究者・産業界



業界関係者・除染事業者
大学生・海外研究者 等

重点連携先



県内外科学教育施設／除染情報プラザ・周辺観光事業者

年齢や知識の習熟にあわせた展示運営プログラムと 家族での再訪やリピーターにつながる仕掛けや話題づくり

- 年代別・教育カリキュラム・指導要領に沿った展示・体験の充実
- ワークショップや環境ノートなど展示・学習の成果や思い出の持ち帰り
- 家族での再来を促す展示・体験・活動プログラムの開発 等



年齢に即した体験・展示

教育委員会の指導資料と連動した展示運営プログラムや 社会科見学のための各種フォローアップの準備

- 教員用利用手引きや来館前後の学習のための貸出キットなど
利用促進ツールの開発
- クラブ活動等の発表・活動の場の提供
- 環境創造センターを活用した社会科見学1日コースの提案 等



展示活動の成果と自宅との連動

県民やNPOの活動の場・機会の創出と 地域の方の日常利用できる場の提供

- (県民)放射線に関する正しい理解の促進の場
- (NPO)展示・事業における活動・発表の場の提供
- (地元)日常利用や休日利用として来館できる展示体験や場の提供
- (県内外)信用力のあるWEB・SNSでの情報発信 等



NPOなどの展示運営への参画

環境の回復・創造に関する情報発信や担い手の育成に加え 一般来訪者と関係者の対話・交流の機会を提供

- 各種学会や国際会議での情報発信
- イベント・ワークショップをとおした研究者と来館者の交流
- 除染等の各種講習や自治体向けの研修と連動した運営事業 等



研究者との交流イベント

国立科学博物館360シアターや除染情報プラザ等との連携や 環境に関する観光事業との協業による情報と魅力の向上

- 他館連携による企画・イベント・広報等の実施(県内巡回展など)
- 除染ボランティア向けの企画立案や環境イベントの実施
- 周辺観光スポットからの誘引施策／周辺観光スポットへの誘導



国立科学博物館360シアター

■展示のテーマ構成

「知る・体験する・考える・未来を描く」のステップで
子どもたちの「未来を創る力」を育みます

Point 1 まずは福島環境の“今”を見える化

今の数値や正しい基準を伝えます

Point 2 環境回復から環境創造へとつながる一体的な体験

回復から創造に向けた福島取り組みを
楽しく学びます

Point 3 「知識」から「意識」を醸成し「実践」へ

福島環境を「考え」「行動」へつなげ、未来像を「描き」
共有することで来館者との共創を図ります。

■展示イメージと諸機能

地域交流スペース

地域の方々が日常的に
利用できる活動
スペース

会議室

国際会議や学会での分科会
や本館・研究棟の会議室として活用。

ホール

国際会議や各種学会
等の開催を見据えた
200名収容のホール

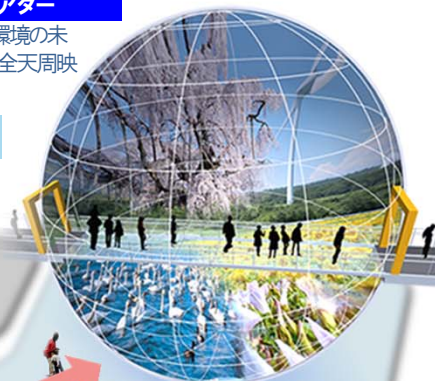
企画展示スペース

環境の回復と創造に関する
企画展や巡回展などを実施

未来を描く

環境創造シアター

みんなで創る環境の未来像や目標を全天周映像で体感



考える

体験研修スペース

学んだ知識と培った意識を行動につなげる体験プログラムを展開

体験する

放射線ラボ

放射線をテーマ別に見
える化・体験化して
正しい理解を醸成

■展示のイメージ

福島モニタリングサークルや放射線ラボなどテーマ別に
体験できるエリアに加え、「環境創造シアター」で
福島未来像を体感し共有します

Point 1 楽しみながら学べる参加体験展示

見えない放射線や難しい環境問題を
分かりやすく伝えます

Point 2 リアルタイムに情報更新できるフレキシブルな展示

最新情報を反映して環境の回復と創造への歩みを
リアルタイムに伝え、環境への意識を醸成します

Point 3 環境創造シアターで環境の未来像を体感

福島環境の近い未来像を体感することで
目指すべき環境の目標を共有します。



知る

福島モニタリングサークル

福島環境の“今”を知る
インタラクティブ展示

多目的研修スペース

学校利用等団体向けの
ガイダンススペース

※施設構成および展示室イメージは
今後の設計の進捗に伴い詳細を詰めていきます

子どもたちが、体験を通して 「福島の未来を考える力」を 育む展示を実現します

知る 福島モニタリングサークル

福島の実環境の“今”を数値・映像などの
複合演出でわかりやすく“見える化”



ふくしま環境モニター

環境を評価する指標や単位をわかりやすく解説。「モニタリングポスト」のデータもリアルタイムで発信



ふくしま環境タッチマップ

除染による環境回復の状況を、地図に映像投影して見える化



■展示項目

1. 環境って何？～Eco/Nature/Environment～
2. 福島の実環境を見る

本館・研究棟

本館・研究棟見学

調査・研究活動“見える化”して
最先端への親近感を醸成

■展示項目

- 各室紹介
- 国環研紹介
- JAEA紹介
- 研究成果など



研究ツール紹介

体験する 放射線ラボ

実際に測ってみて、放射線を正しく理解する実験ラボ

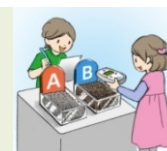


バーチャル除染体験
取り除く、遮蔽する、遠ざける、洗うなどの除染の考え方を疑似体験！

測定体験キット
微量な放射線を、実際に線量計を使って測ってみよう！

■展示項目

1. 知る
 - 自然界にある放射線
 - 放射線とは？
 - 放射線の特徴／放射線と放射能
2. 測る
 - 放射線の単位
 - 食品(農水産物)の安全性
 - 放射線測定機器
3. 使う
 - 日常生活の中にある放射線の利用
 - 医療や産業界での活用
4. 除き、守る
 - 除染の必要性
 - 除染の取組み
 - 放射線から身を守る



体験する 環境創造ラボ

持続型社会に向けた行動を学ぶ体験型のシミュレーションラボ



地球温暖化ラボ
水河、砂漠などの環境をミニチュアで再現。いろんな環境をのぞいてみよう！

資源・エネルギーラボ
エコ行動をチェックしながら、再生可能エネルギーの可能性について考えよう！

■展示項目

1. 福島を抱える環境問題
 - 大気・水・土壌の環境
 - 産業廃棄物とごみ問題
 - 自然環境保全、生物多様性 等
2. 福島での環境創造に向けて
 - 低炭素社会 (再生可能エネルギーの普及と有効活用)
 - 循環型社会 (ライフスタイルの転換、産業廃棄物の発生抑制と再利用等)
 - 自然共生社会 (自然環境の保全、生物多様性、エリア別での取り組み)



考える 体験研修スペース

学んだ「知識」と培った「意識」から
行動につなげる体験プログラムを展開



■その他実施事業

- 除染・放射線講習会
- 自治体職員研修会 など

未来を描く 環境創造シアター

福島の実環境の未来像や目標を体感し来館者で共有



県内7つの生活圏の自然や文化も映像で紹介

■シアターコンテンツ(案)

1. 放射線について 【約5分】

私たちの身の回りには放射線があり、身を守るための方策と環境回復に向けたメッセージを伝えます。

2. 福島の実環境～すばらしい自然環境へ～【約5分】

再生可能エネルギーなどで創りだす新たな福島の実環境と、福島の豊かな自然・文化を併せて紹介し環境の未来像を紹介します。



屋外

環境共生ひろば

自然に親しみながら、展示室での
体験や環境の未来像を再考



自然共生・再生エネルギーや風力発電等も検討



子どもたち
向け

学校団体利用での効率的・効果的な放射線学習の実現に向けて…

■学校団体利用にむけた基本的な考え方

教育庁作成の指導資料や社会科見学動向に準拠して
対象・年齢や滞在時間に合わせた活動プログラムを開発します。

県カリキュラムとの連動

「放射線等に関する指導資料」
に合わせた学習メニューを開発

例)
『ふくしま環境ノート』

福島の未来を子どもたちが
考えるための記入式ノート



来館前・後のフォローの充実

教育庁と連携して施設の使い
方や学習プログラムを策定

例)
事前・事後学習用の貸出キット開発

交流棟の活用方法や来館前後の
フォローツールを教員と協働で作成



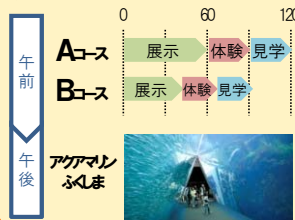
事前・事後学習のための
貸出キット開発など

社会見学動向の反映

団体利用のニーズにあわせた
1日をととした楽しみ方を提案

例)
周辺連携による環境・地域学習

環境創造センターと別場所による環
境と地域学習などのルートを提案



家族での再訪に向けて

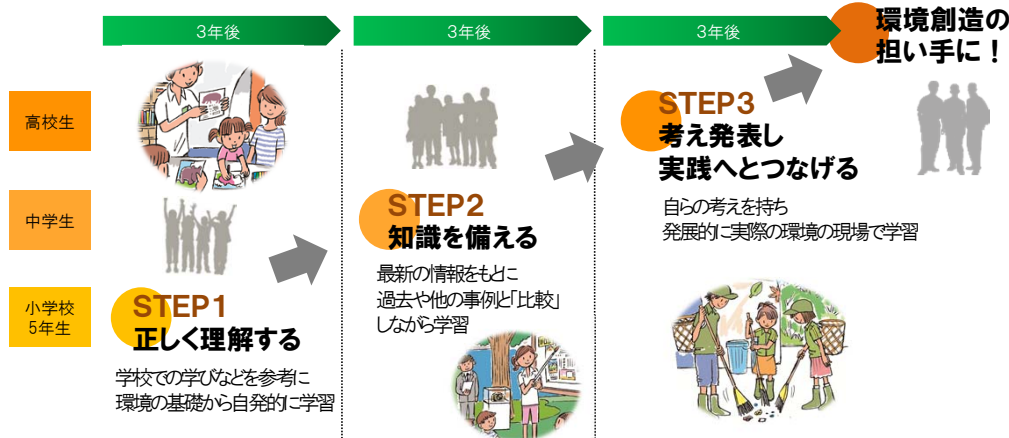
学習・体験の成果を
持ち帰り

学習や体験の成果を持ち帰る体験メニューを用意。
帰途後に家族や仲間と環境について考えたり、会
話のきっかけを作りピーターへとつなげていきます。



■中長期視点での担い手の育成に向けて

子どもたちが継続的に学ぶことで福島環境創造の当事者として
成長していくステップを、長期的な視点で計画していきます。



県民・事業者
向け

県民や事業者、除染従事者、クラブ活動、家族などの幅広い利用に向けて…

■来館目的に応じたプログラムの開発

利用者別のプログラム開発と情報の発信を重視。
県内外の関連施設との連携により利用促進を図ります。

研究者や学会参加者の参画

イベントとして研究者が一般
向けに行う交流事業を実施

例)
研究者との交流イベント

研究者や学会参加者によるワー
クショップや公演などの実施



実践につながる研修の実施

除染研修等に合わせた展示
や体験プログラムを用意

例)
除染講習会向け展示

これまでの参加者の声や経
験、活動の内容を蓄積し展示化



県内外の関係施設との連携

国立科学博物館との連携や
除染情報プラザとの情報共有を推進

例)
科博360シアター

科博所有のコンテンツの提供や
県内巡回展での協業を推進



さらなる波及に向けて

県内・国内外への
情報発信

研究成果や最新の環境回復・創造に関する情報、
施設での活動や参加者の活動成果をWEBやSNS
等で発信します。

twitter

facebook

■利用者に応じた学習・研修プログラム

利用者の知識や来館目的のほか、県内の歳時や祝祭日などに合わせた
学習・研修のプログラムを用意します。

県民
NPO

- サーベイメータによる放射線測定研修
- 循環型社会講座等



事業者

- 除染従事者講習会
- エコアクション21研修会等



家族

- 食品の放射線測定実験
- 親子環境カフェ等



小学校
高学年

- 夏休み自由研究相談会&発表会
- 環境問題映画等



中学生
高校生

- 霧箱実験
- 未来に向けた環境ディベート大会等

